

平成30年度学校評価アンケートの結果について

余寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に深いご理解とご支援を賜り心より御礼申し上げます。

さて、昨年10月末、保護者の皆様にご回答いただきました学校評価アンケートにて、貴重なご意見をいただきありがとうございます。高等部生徒の学校評価アンケートとあわせまして、下記のような観点で結果を集計し考察いたしましたので、お知らせいたします。なお、全アンケート項目結果等も掲載いたしましたので、あわせてご覧ください。

今後とも全職員一丸となって、本校の教育目標『一人一人の発達段階や特性に応じた教育を行うことにより、生きる力を育み、人間性豊かな児童生徒の育成を目指す。』の達成に向けて教育活動に邁進していきますので、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

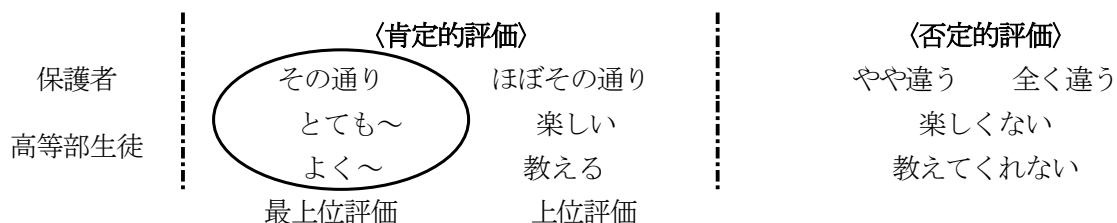
1 学校評価の取り組みと回収率

表1 学校評価の取り組みと回収率

	回収率	実施期間
学校評価アンケート（保護者用）	97 %	10/29～11/9
学校評価アンケート（高等部生徒用）	100 %	10/29～11/9

2 結果の考察における着眼の基準

評価段階は保護者が5段階で、高等部生徒は4段階に設定しました。結果、考察を進める上で、保護者の上位2段階の評価を肯定的評価、次の2段階の評価を否定的評価としました。高等部生徒は4段階評価で、上位2段階を肯定的評価、次の1段階を否定的評価としました。



3 結果の考察におけるポイント

- (1) 原則として、肯定的評価の割合が8割以上であれば、高い評価を得たと押さえます。【観点1】
- (2) 原則として、肯定的評価が8割未満であれば、評価が低いと押さえます。【観点2】
- (3) 前年に比べ、1割以上の増減があった項目に着目します。(原則として肯定的評価の割合が8割以上のものを除く) 【観点3】
- (4) 「よくわからない」が1割以上の項目に着目します。【観点4】

※1 「自由記述」については部や学部等で検討することはありませんが、学校評価に挙げていただいた意図をくみ取り尊重し、参考とします。

※2 本年度より高等部生徒の学校評価の結果については、参考としました。

4 結果のまとめ

(1) 学校評価アンケート(保護者)について

観点別	観点の内容	該当項目	検討部
観点 1	肯定的評価の割合が8割以上であれば、高い評価を得たと押さえる。	1, 3～8, 10～20までの項目	
観点 2	肯定的評価の割合が8割未満であれば、評価が低いと押さえる。	9 学校は、いじめなど児童生徒の問題に対して、保護者と一緒に解決に取り組んでいますか。	各学部 生徒指導部
観点 3	前年に比べ、1割以上の増減があった項目に着目する。 (原則として肯定的評価の割合が8割以上のものを除く)		
観点 4	「よくわからない」が1割以上の項目に着目する。	2 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいますか。 9 学校は、いじめなど児童生徒の問題に対して、保護者と一緒に解決に取り組んでいますか。	各学部 生徒指導部

5 考察

- 1, 3～8, 10～20までの19の項目において肯定的な評価をいただいたことから、保護者の多くが、児童生徒が有意義な学校生活を送っていると考えているのではないかと思います。

〈補足〉肯定的な評価が95%を超えていたのは以下の8項目です。

項目 1 学校は、教育目標や教育方針をわかりやすく伝えていますか。

項目 4 運動会、学校祭、学部の行事など有意義な行事が行われていますか。

項目 7 学校の雰囲気がよく、子どもたちが生き生きと活動していますか。

項目 11 「進路だより」、「進路のてびき」「栗原地区の福祉施設」等進路に関する情報は役に立っていますか。

項目 12 お子さんの学習や生活のことについて、学校や担任に相談できますか。

項目 14 学校は通信票等で学習の評価を適切に行っていますか。

項目 15 お子さんのプライバシーは守られていますか。

項目 16 災害時の対応について、児童生徒や保護者に行動マニュアルが知らされていますか。

昨年度の評価の反省を生かして指導に取り組んだ結果かと思われます。また、項目 1, 4, 11については昨年度に引き続き、高い評価を得ています。

そして、昨年は一つもなかった「よくわからない」が1割を超えたものが項目 2 と、9 です。項目 2 については現在地域交流として、小中学部ではりんご狩り、高等部では花植えやゴミ拾い、作業体験などの活動を行っています。来年度も、このような交流を継続するとともに、保護者の方には「学校だより」や「学部だより」等でお伝えしていきます。

項目 9 については、本年度本校では、いじめの事案はありませんでした。来年度からは、いじめがないことや県に報告した大まかな概要を、授業参観日の懇談会などで説明する場を設定していきたいと思えます。

4 結果のまとめ

(2) 学校評価アンケート(高等部生徒)について

観点別	観点の内容	該当項目
観点 1	肯定的評価の割合が 8 割以上であれば、高い評価を得たと押さえる。	1, 3～10 までの項目
観点 2	肯定的評価の割合が 8 割未満であれば、評価が低いと押さえる。	2
観点 3	前年に比べ、1 割以上の増減があった項目に着目する。(原則として肯定的評価の割合が 8 割以上のものを除く)	
観点 4	「よくわからない」が 1 割以上の項目に着目する。	1 学校に行くのが楽しいですか。 2 家に帰ってから、学校のことを家族にはなすことがありますか。 4 授業はわかりやすいですか。 5 先生は、進路の話を聞かせてくれますか。 6 先生は、社会のルールについて教えてくれますか。

今年度より、高等部生徒の学校評価アンケートについては参考としました。

5 考察

- 1, 3～10 までの項目において肯定的な評価が多かったことから、学校生活に満足していることが伺えます。
- 項目 2 「家に帰ってから、学校のことを話すことがありますか。」については、項目 1, 2, 4, 5, 6 について「よくわからない」が 1 割以上となっています。この 5 項目については、質問の意図が伝わらなかったのか、代筆をなさっている保護者の方に学校の様子が伝わっていなかったのか、本当にわからなかったのかということの背景を踏まえて考察していく必要があると考えます。来年度は質問の項目がよりわかりやすいように検討するとともに、生徒に対して、今以上により細やかな対応等を心掛けていきたいと思います。